

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」

たまちゃん通信

令和2年7月発行 No. 346

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail: honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

練馬つながるフェスタに参加

お手玉遊びの体験とお手玉の販売

日本のお手玉の会の練馬おてだまの会(奥野ふみ会長)は、令和2年2月1日(土)、同区の区民・産業プラザココネリで行われた「練馬つながるフェスタ2020」に参加し、お手玉遊びの体験指導とお手玉の販売を担当しました。このフェスタには2度目の参加です。



ステージパフォーマンスでは、お手玉演舞「うさぎとかめ」「アルプス1万尺」「パプリカ」の3曲を披露しました。

この「パプリカ」の採用について、奥野会長は、次のように話しています。



「昨年、オリンピック応援歌『パプリカ』の曲がテレビから流れた時、とても親しみを感じました。小学校の運動会でも1年生が踊っていました。それを見て、お手玉を使って振付ができたらと思って振り付けを考えました。お手玉の技を組み合わせると、自主的に振り付けの解説を紙面に書いて印刷し、会員に配ってくれる会員がいました。お互いが振り付けを教えあい、確認しあうなど、支部の会合は熱意がみなぎり、大いに盛り上がりました。」(写真左上：奥野会長)

すると、自主的に振り付けの解説を紙面に書いて印刷し、会員に配ってくれる会員がいました。お互いが振り付けを教えあい、確認しあうなど、支部の会合は熱意がみなぎり、大いに盛り上がりました。」(写真左上：奥野会長)

その余勢で、フェスタで販売するお手玉を会員みんなで、楽しみながら作りました。また、小物を入れる布袋は、裁縫が得意な会員が作ってくれました。(写真左下：みんなでお手玉づくり)

「フェスタへの参加で、また一つ新しい体験ができました。これからも地域の方々にお手玉遊びの楽しさを伝えつづけていきたいと思っています。」と、奥野会長は話しています。(写真下：「パプリカ」の演舞)

みんなと一緒にできる

会員みなさんも、「やっと覚えた演舞だったが、お客様が『パプリカ』を歌ってくれたので盛り上がりうれしかった。感動した」「一人ではできないが、みんなと一緒にできる。楽しかった」「会員みんなの熱意にびっくりした。うれしかった」「人前が出るのは苦手だったが、発表があると上手になる。大事な機会を与えてもらった。感謝している」と話しています。

